

国際的Hot Topics！マイボーム腺機能不全と霰粒腫の診断と治療Update

福岡 詩麻^{1,2,3)}, 有田 玲子^{1,4)}, 海道 美奈子^{1,5)}, 白川 理香^{1,3,6)}, 松本 玲^{1,7)}

Shima Fukuoka^{1,2,3)}

LIME研究会¹⁾, 大宮はまだ眼科西口分院²⁾, 東京大³⁾, 伊藤医院⁴⁾, 和田眼科医院⁵⁾, 東都文京病院⁶⁾, レイククリニック⁷⁾
LIME Working Group¹⁾, Omiya Hamada Eye Cl²⁾, Tokyo Univ³⁾, Itoh Cl⁴⁾, Wada Eye Cl⁵⁾, Tohto Bunkyo Hp⁶⁾, Ray Cl⁷⁾

マイボーム腺機能不全 (Meibomian gland dysfunction、以下MGD) は、我々眼科医が一般眼科外来で遭遇する最も多い疾患のひとつであり、ドライアイの主因でもある。これまで診断や治療のコンセンサスがなかったために見過ごされがちであった。昨年、エビデンスに基づいた「マイボーム腺機能不全診療ガイドライン」が発行されたことで、MGD診療の重要性が見直されている。MGDの診断は、スリットランプさえあればどの眼科医でも可能である。今回のコースでは、MGD診療ガイドラインに沿って、MGDの診断・治療をわかりやすく整理し、お伝えする。また、マイボーム腺関連疾患として国際的にも注目されている「霰粒腫の切らない治療」、特に子どもの霰粒腫治療についても実際の症例を提示しながら解説する。

具体的には、以下の内容を予定している。

1. MGDの診断 [自覚症状、眼瞼縁・マイバムの観察、マイボグラフィ]
2. MGDの治療 [マイボケア (温罨法・眼瞼清拭)、処方薬・マイバム圧出、医療機器 (Intense Pulsed Light (IPL)、Thermal pulsation system)]
3. 切らない霰粒腫治療 [温罨法、眼瞼清拭、ステロイド注射、IPL]

本コースの目標は、日々の診療でマイボーム腺関連疾患である「MGD」と「霰粒腫」に対し適切な診断を行い、ホームケアから積極的なものまで症例に応じた治療選択を可能にすることである。

【利益相反公表基準】 該当有

【IC】 取得有

【倫理審査】 承認有